

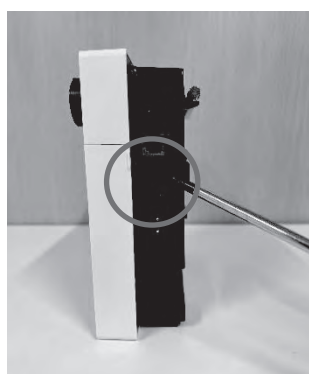
戸別受信機の乾電池交換はお早めに 赤色点灯・音声は交換時期のサインです

令和4、5年度に更新した戸別受信機は、乾電池の残量が少なくなると、本体の乾電池マークが赤色点灯し、本体から「乾電池を交換してください」と音声がかかります。「いざ」というときに大切な情報が聞けなかったり、故障の原因につながったりしますので、早めの交換をお願いします。

乾電池の種類は単一乾電池を推奨していますが、単一、単二、単三のいずれも対応可能となっています（更新取り付け時は単一乾電池を本体にセットしお配りしています）。

交換手順は次のとおりです。

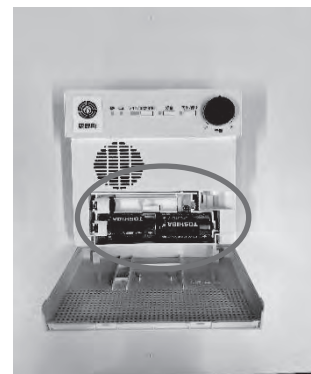
《乾電池の交換手順》



①電源スイッチを下に押し、電源を切る。



②本体左右側面を軽くつまみ、手前に引き寄せ、上蓋を開ける。



③乾電池を交換し、上蓋を閉める。電源スイッチを上を押し、電源を入れる。

▼お問い合わせは、役場総務・防災課防災・デジタル推進室（01372-7-2111）へ。

○ 駒ヶ岳火山観測情報 ○

令和6年6月に観測された駒ヶ岳の状況についてお知らせします。

- 全般 火山活動は、概ね静穏に経過しています。長期的には、噴気活動や地殻変動に活発化の傾向がわずかに認められており、今後も活動の推移には注意が必要です。噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）に変更はありません。
- 噴煙活動 5月30日に山頂火口原で実施した現地調査では、昭和4年火口の噴気や地表面温度の分布は、今期間、特段の変化は認められません。
- 地震活動 今期間、地震回数は少なく、地震活動は低調な状態です。火山性微動は3月23日以降観測されていません。
- 地殻変動 GNSS連続観測では、統計的に2022年頃から山頂付近の膨張を示すと考えられるわずかな変化が一部で認められていましたが、2024年1月頃から概ね停滞しています。長期的に見れば、昭和4年火口付近を囲む基線で、わずかな伸長が認められます。
(GNSS観測：GPS含む衛星測位システムの総称)

①詳細は札幌管区気象台ホームページでも閲覧することができます。

<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

②気象庁ホームページに駒ヶ岳の火山観測データが掲載されています。火山活動状況などの把握にご利用ください。<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/opendata/open-data.php?id=113>